

第9回 <sup>かいぎ</sup> みんなの尼活皆議

# 尼崎市の高齢者施策（取組）について



令和6年9月26日

尼崎市長 松本 眞



●まちを支える**各主体の課題やニーズの把握**に努め、**積極的に情報共有や意見交換を図る**ことで、それぞれの主体が持つ支援力と相互の連携を強め、より効果的な施策展開（まちづくり）へと繋げていく。

## ■自助（市民力）

→市民一人ひとりが、自分で出来ることは自分で行うこと

## ■ 共助（地域力）

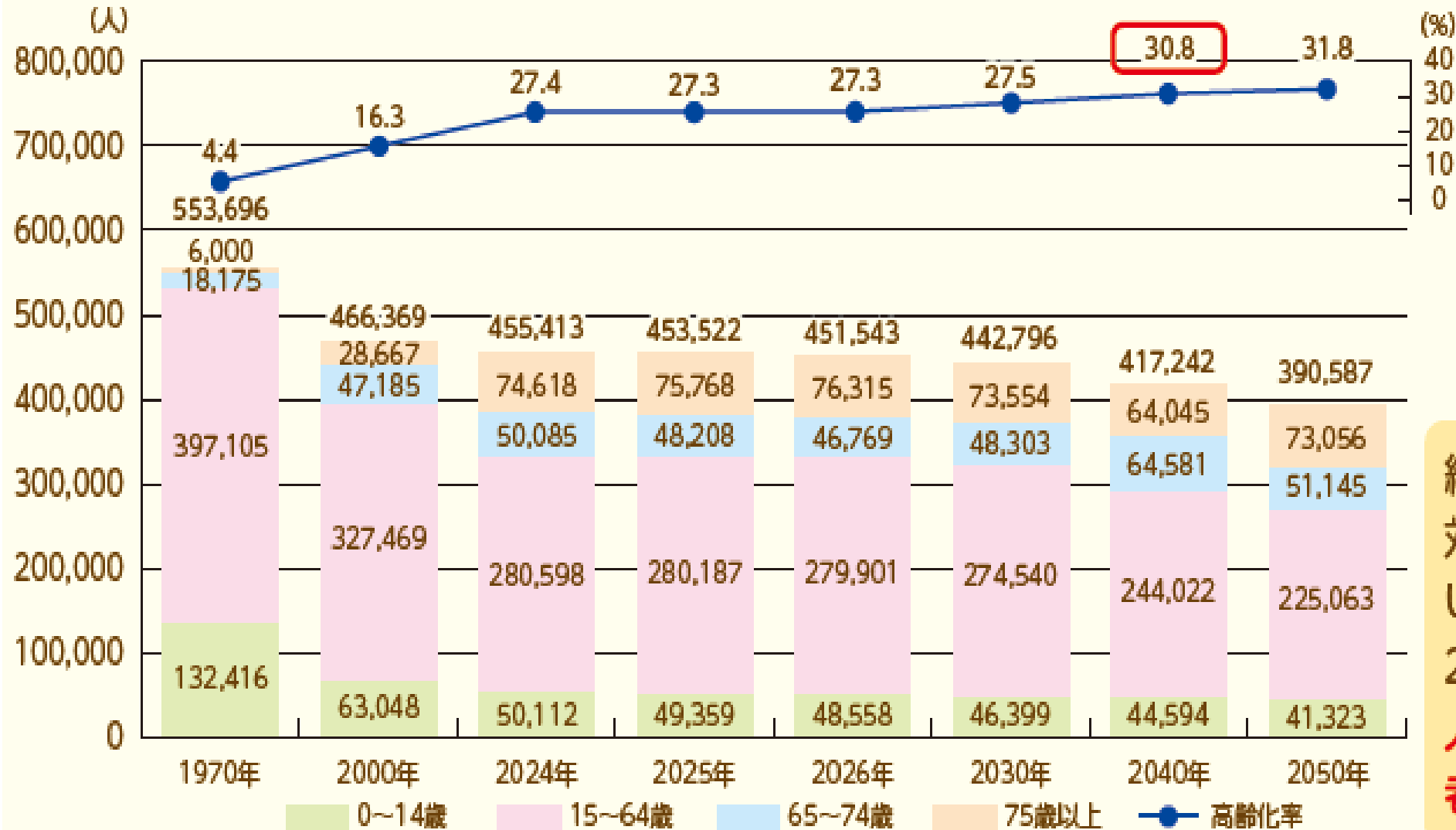
→「自助」では解決できないような地域課題の解決  
に向け、多様な主体が連携・協力すること

## ■公助（行政力）

→市民や事業者が安心して安全な生活を送るため、インフラの整備や施設の整備などの行政サービスを、市の責任において行うこととする。

# 本市の高齢者数・高齢化率・認定者数の推移

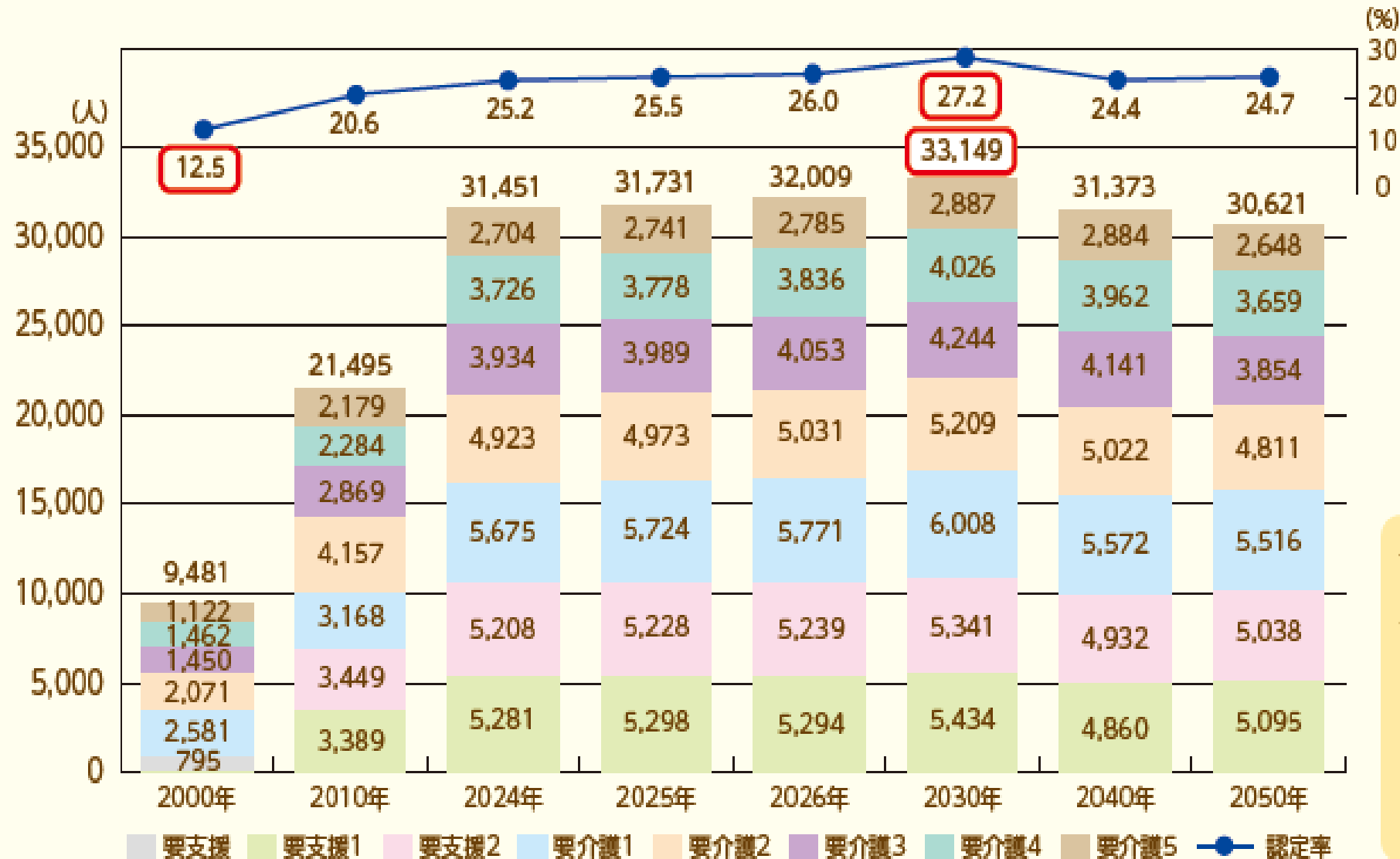
## 高齢者数・高齢化率の推計



総人口が減少するのに対し、高齢者数は横ばい傾向となっており、2040年には  
**人口の3割以上が高齢者となる見込みです。**

# 本市の高齢者数・高齢化率・認定者数の推移

## 要支援・要介護認定者数の推計



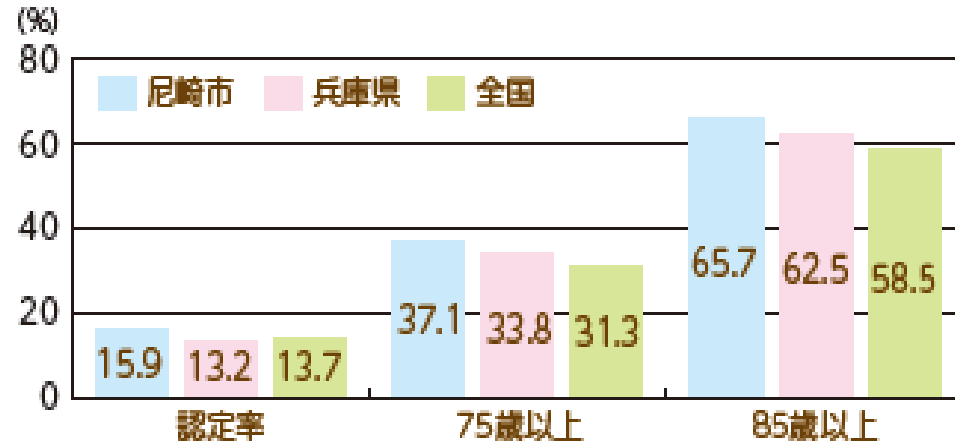
高齢者数の増減に合わせて認定者数も増減するものの、  
**2030年までは増加傾向**となる見込みです。

# 全国・県平均と比較した本市の現状

## 全国・県平均と比較した尼崎市の現状は…？

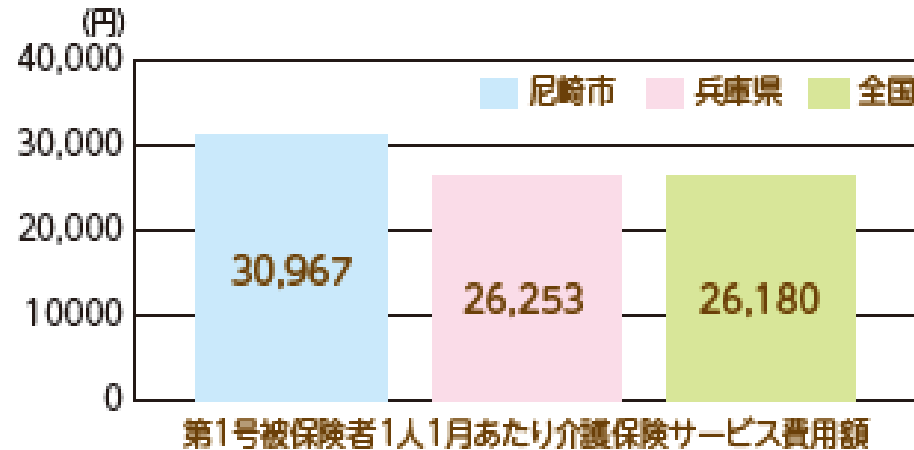
要支援・  
要介護認定率  
(2023年3月末現在)

国・兵庫県と  
比較して認定  
率が高い！



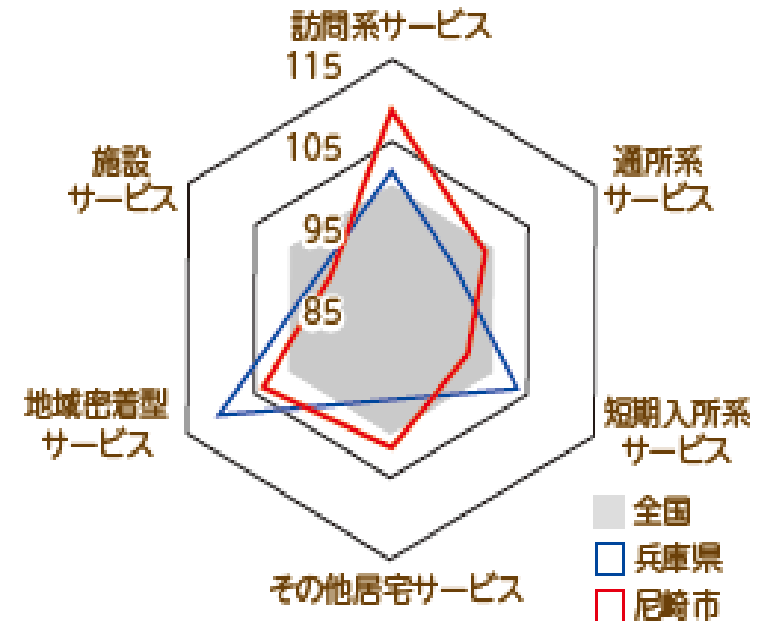
第1号被保険者  
1人1月あたり  
介護保険  
サービス費用額

サービス費用額は  
1人あたり  
約4,000円高い！



## 受給者1人あたりの給付月額

※全国を100とした場合の指数



国・兵庫県と比較して、施設サービスが低くなっている一方で、訪問系サービスが高く、在宅で生活を送るためのサービス利用が進んでいます！

# 本市の重点項目（高齢者施策に関連する項目）

“あまがさき”を次のステージに！ともに進めましょう！

尼崎市は、地の利もよく、可能性のある街です。

「対話重視」、「実行力」、「誰一人取り残さない」を重視し、これまでの霞が関（文部科学省・内閣官房）、尼崎市教育長での経験をフルに活用し、政策を着実に前に進めていきます！ そのために今後 取り組むべき政策を

**30の重点項目**に取りまとめました。

HOP!

STEP!

次のステージに！  
JUMP!

## 02. 暮らしやすい街に！



11 誰もが住みやすい、人権が息づく地域共生社会を目指します。

12 何歳になっても、誰もが健康で、自分らしく生きがいをもって暮らせる仕組みづくりを進めます。

13 高齢者等への見守り活動や重層的支援を推進するとともに、地域防災力向上に取組み、安全安心を高めます。

## 05. 市民とともに市民に寄り添う市役所に！



28 福祉人材の確保と育成に重点的に取り組みます。



## 第9期高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画

### 4つの基本施策

基本施策  
1

介護予防・フレイル対策の  
推進

(30の重点項目との関連) 12

基本施策  
2

「共生・理解」を両輪とする  
認知症施策の推進

(30の重点項目との関連) 11

基本施策  
3

人と人とのつながりや支え合い、  
高齢者の社会参加の促進

(30の重点項目との関連) 11 12 13

基本施策  
4

介護が必要になっても安全・  
安心に暮らせる基盤づくり

(30の重点項目との関連) 13 28



# 高齢者保健福祉計画の4つの基本施策

## 基本 施策 1

### 介護予防・フレイル対策の推進

栄養・口腔  
運動  
社会参加

介護予防・フレイル対策の  
重要性の普及・啓発

地域での介護予防活動  
(体操) への支援

ケアマネジャーへの支援

重要性を  
啓発



いきいき百歳体操等を普及・啓発

## 基本 施策 2

### 「共生・理解」を両輪とする認知症施策の推進

サポーターの証であ  
オレンジリング

認知症を正しく理解する  
認知症サポーターの養成

地域で認知症本人や家族を支  
援するチームオレンジの活動

認知症の早期発見や行方不明  
になった際の発見の仕組みづ  
くり

普及・啓発  
支援体制の  
構築



サポーター養成や認知症カフェ等  
安心につながる取組を実施

## 基本 施策 3

### 人と人とのつながりや支え合い、 高齢者の社会参加の促進

人とのつながりによる相互の  
見守り、社会参加

高齢者の生きがい創出と  
社会参加

高齢者の生きがい創出と  
地域課題へのアプローチ

高齢者を  
活動につな  
げる仕掛け



尼崎市高齢者  
ふれあいサロン



サロンやボランティアへの  
補助事業等を実施

## 基本 施策 4

### 介護が必要になっても 安全・安心に暮らせる基盤づくり

権利擁護支援の推進

高齢者の総合相談窓口の設置

在宅生活を支えるための  
専門職間の連携強化

専門職・  
行政による  
基盤づくり

#### 地域包括支援センター

保健師

主任ケアマネジャー

社会福祉士

介護人材の確保や地域包括支援  
センターの負担軽減等を検討

# 地域包括支援センター機能（体制・業務）

市内12か所・71人

保健師

主任ケアマネジャー

社会福祉士

チームアプローチ

## 様々な相談ごと （総合相談）

介護保険や認知症、  
健康や財産管理等の相談対応

## 権利を守ること （権利擁護）

成年後見制度の活用促進や  
虐待の早期発見・対応等

## 介護や健康のこと （介護予防ケアマネジメント）

介護予防や健康維持のための  
関連事業の紹介

## 暮らしやすい地域のために （包括的・継続的ケアマネジメント）

地域ケア会議の開催や  
ケアマネジャーへの助言・支援



地域包括支援センターの業務は、高齢者保健福祉計画の4つの基本施策と密接に関連！



# 本日の出席者 本市の地域包括支援センター管理者

| 地区 | 地域包括支援センター         |     | 受託法人          | 圏域高齢者数<br>(R6.3.31時点) |
|----|--------------------|-----|---------------|-----------------------|
| 中央 | 中央西地域包括支援センター管理者   | 内田様 | 尼崎医療生活協同組合    | 7,818人                |
|    | 中央東地域包括支援センター管理者   | 松永様 | 社会福祉法人ほがらか会   | 7,595人                |
| 小田 | 小田北地域包括支援センター管理者   | 増井様 | 社会福祉法人中央会     | 11,875人               |
|    | 小田南地域包括支援センター管理者   | 前川様 | 社会医療法人きらくえん   | 8,895人                |
| 大庄 | 大庄北地域包括支援センター管理者代理 | 中村様 | 社会福祉法人平成会     | 8,344人                |
|    | 大庄南地域包括支援センター管理者   | 北村様 | 社会福祉法人サンシャイン  | 7,731人                |
| 立花 | 立花北地域包括支援センター管理者   | 大田様 | 尼崎医療生活協同組合    | 14,293人               |
|    | 立花南地域包括支援センター管理者   | 八代様 | 社会福祉法人あかね     | 14,677人               |
| 武庫 | 武庫西地域包括支援センター管理者   | 加山様 | 社会福祉法人真澄会     | 11,338人               |
|    | 武庫東地域包括支援センター管理者   | 東 様 | 社会福祉法人きらくえん   | 8,429人                |
| 園田 | 園田北地域包括支援センター管理者   | 西川様 | 社会福祉法人田能老人福祉会 | 10,905人               |
|    | 園田南地域包括支援センター管理者   | 山崎様 | 社会福祉法人阪神共同福祉会 | 12,278人               |

## 本日の意見交換

### 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念

高齢者が尊厳を保ち、安全・安心に健康で  
多様な暮らし方ができる支え合いのまちづくり

これらの基本理念を実現するためには、地域包括支援センターでの取組が一層重要となってきます。

皆さまが普段から現場で支援している取組を通じて、感じていることをお話しいただき、本市の高齢者支援施策について、『今後の方向性』などを話し合しましょう。



- テーマ① 介護予防・フレイル対策・認知症施策・社会参加の促進など、地域包括支援センターが行った高齢者の活動支援の好事例や課題
- テーマ② 地域包括支援センターが地域で支援を行っているときに感じる介護人材の不足や、その解消のための人材確保・定着に向けた課題